

図書館

奈良・東生駒キャンパスに本館、奈良・学園前キャンパスに分館を設置しています。

本館は、帝塚山学園創立40周年記念事業として、1978年7月31日に開館。分館は、2000年、帝塚山短期大学が帝塚山大学に組み込まれたことに伴い、大学に編入されました。



学生選書

図書館では、2002年度より、「学生選書会」を実施。現在、年に4回開催し、学生自身が図書館に置いてほしい本を、大型書店で自由に選ぶことができます。実施回数は、2017年度末で48回を数え、これまでに11,233冊もの多岐にわたるジャンルの書籍が学生によって選書されています。



蔵書数・リポジトリ登録件数(2017年度)
2018年3月31日現在

両キャンパス蔵書数(図書) **626,283冊**
私立大学平均所蔵冊数(図書) **336,549冊**
※2017年度(平成29年度)学術情報基礎実態調査(2018年3月23日公表)
私立大学所蔵冊数統計を付表1の規模別大学一覧表記載の608校で除したものの

	蔵書数(図書)	蔵書数(視聴覚)	リポジトリ登録件数	年間入館者数(両館合計)
本館	402,466	6,201	1次情報 786	98,371人
分館	223,837	4,518	2次情報 144	貸出冊数(全体)
合計	626,283	10,719	930	24,367冊

座席数 本館 351 分館 214 **565席**
学生選書会選書数 2003年2月~2017年度 **48回**
11,233冊
奈良・東生駒図書館内 アクティブ・ラーニング・スペース「IC」

情報



教育研究ネットワークシステム、TUNE (Tezukayama University Network Evolution)は、1998年4月に奈良・東生駒キャンパスに、1999年9月には奈良・学園前キャンパスに導入されました。2018年5月1日現在、設置しているコンピューターの台数は、両キャンパスで約**1,200台**。VectorWorks、SPSS、Adobeなど専門分野に応じた**15種**の有償ソフトを含む**43種**のソフトが、両キャンパスのコンピューターで利用可能です。

PC設置台数(演習室) 約 **1,200台**
利用可能ソフトウェア **43種**
VectorWorks、SPSS、Adobeなどを始めとする

附置研究所・附属博物館・こころのケアセンター

最新の考古学研究成果を発信
考古学研究所



主として飛鳥時代以降を対象とした、考古学の研究を進め、その成果を紀要で発表。歴史考古学研究会、シンポジウム、古代瓦の復元製作の実習、春と秋の「遺跡探訪」などのほか、学生や市民対象の「市民大学講座」を隔週で開催しています。

日本有数の瓦コレクション
附属博物館



2004年4月、奈良・東生駒キャンパスに開館した奈良県で2番目の大学附属博物館です。日・中・韓の瓦を約7,850点収蔵し、広く一般に公開しています。また、学芸員の資格取得に必要な博物館実習を行うことができます。

国内外の研究者による講演も実施
経済経営研究所



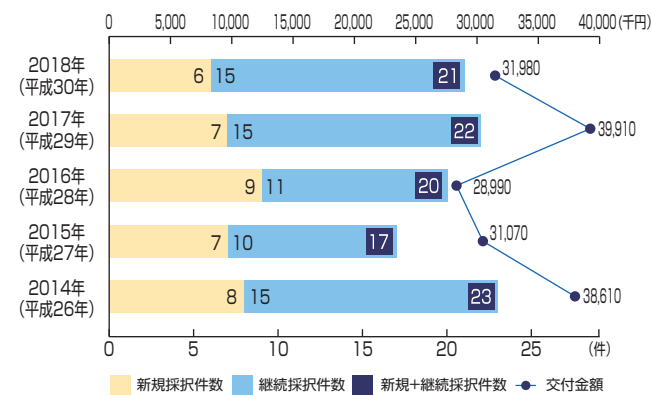
現代社会におけるさまざまな問題を取り上げ、経済学、経営学の観点から研究を進めています。年に数回の研究発表会や国内外の研究者を招いて講演会を開催。研究所のWebサイトからは、電子版で多くの研究情報を発信しています。

科学研究費

日本の学術振興のために文部科学省が支給する2018年度(平成30年度)の科学研究費の新規採択は**7件**、新規+継続の採択件数は**21件**。交付金額は**31,918,000円**です。

● 本学では、学内で応募書類作成の説明会を行うなど、科学研究費獲得のためのきめ細かなサポートをしています。

科学研究費採択件数および交付金額推移



科研費 KAKENHI
基盤研究(A) 2017年度採択
高齢ドライバーの生理的老化及び病的老化と運転行動の関係に関する基礎的研究
代表研究者 心理学部 教授 蓮花 一己
研究期間 2017年4月1日~2021年3月31日

本研究は、生理的老化(正常老化)と病的老化を区別して、病的老化が運転行動に及ぼす影響を調べる。高齢者の運転に関する生活・健康状態、認知機能、運転行動に関する「高齢運転データベース」を構築し、次に高齢ドライバーの脳機能状態の低下が一般道路での運転行動に及ぼす影響を検証し、適切で効果的な介入手法を検討する。

紀要



良質の研究が良質の教育に結びつくという考えのもと、本学では、研究成果の積極的な公開のために、開学した1964年から紀要を発行しています。2017年現在、学部・研究科などから刊行しているのは**14タイトル**。うち、『帝塚山大学文学部紀要』は、開学時初刊の『帝塚山大学紀要』の流れをくむものです。



帝塚山大学出版会は、本学の研究・教育とその成果の発表を助成し、学術関連図書及び教科書の刊行・頒布を目的として、2006年に設立されました。これまでに、さまざまな研究分野の学術書や教科書などを発行し、2018年5月1日現在、**25タイトル**の書籍を刊行しています。

出版会